

平成29年5月10日(水)

国土交通省関東地方整備局利根川ダム統合管理事務所

独立行政法人水資源機構沼田総合管理所

記者発表資料

利根川上流の5ダムが満水となりました

首都圏の1都5県(東京都、千葉県、埼玉県、茨城県、群馬県、栃木県)の水源となっている利根川上流8ダムのうち、5ダム(矢木沢ダム、奈良俣ダム、藤原ダム、相俣ダム、蘆原ダム)が、5月10日0時に満水となりました。

上記の5ダムに、下久保ダム、草木ダム、渡良瀬貯水池を含めた、利根川上流8ダムの合計貯水量は4億333万 m^3 となりました。

これから、農業用水を始めとする水需要が増大していく時期となります。

利根川ダム統合管理事務所では、引き続き関係機関と連携しつつ、きめ細かいダム運用に努めてまいります。今後の降雨状況によっては、貯水量が減少する可能性もあることから、引き続き節水にご理解、ご協力をお願いします。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、刀水クラブ・テレビ記者会、水資源記者クラブ

問い合わせ先

○国土交通省関東地方整備局利根川ダム統合管理事務所 電話 027-251-2021(代表)

副所長(技術) 登坂新次

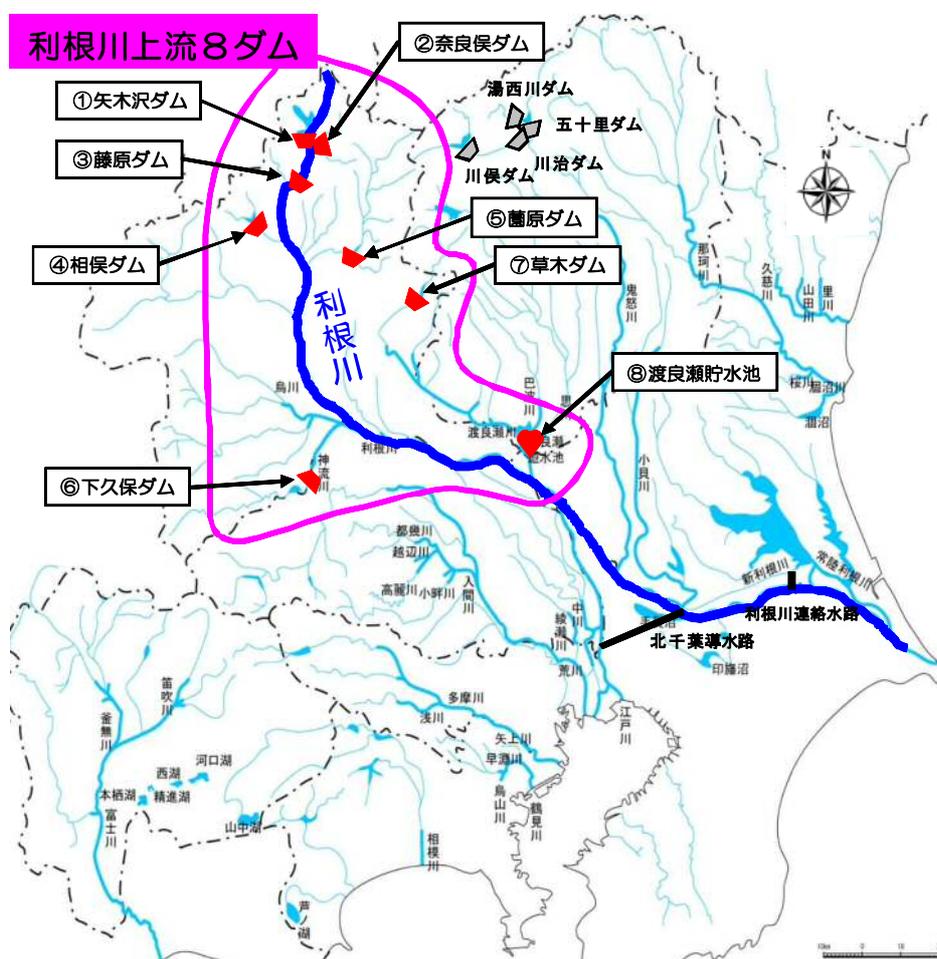
広域水管理課長 齊藤靖

○独立行政法人水資源機構沼田総合管理所 電話 0278-22-7565(代表)

管理課長 中原忠義

利根川上流8ダムの貯水量(平成29年5月10日0時現在)

ダム名	有効貯水容量	貯水量	貯水率
① 矢木沢ダム	1億1,550万 m ³	1億1,539万 m ³	100%
② 奈良俣ダム	8,500万 m ³	8,535万 m ³	100%
③ 藤原ダム	3,101万 m ³	3,081万 m ³	99%
④ 相俣ダム	2,000万 m ³	1,989万 m ³	99%
⑤ 菌原ダム	1,322万 m ³	1,310万 m ³	99%
⑥ 下久保ダム	1億2,000万 m ³	8,384万 m ³	70%
⑦ 草木ダム	5,050万 m ³	3,706万 m ³	73%
⑧ 渡良瀬貯水池	2,640万 m ³	1,791万 m ³	67%
8ダム計	4億6,163万 m ³	4億333万 m ³	87%



利根川上流8ダム位置図

利根川ダム統管理事務所では、利根川上流ダム群の状況等について情報提供サービスを行っています。ご利用下さい。

○インターネットホームページ <http://www.ktr.mlit.go.jp/tonedamu/>
 ダム情報、ダム LIVE 情報、降水量・水位 LIVE 情報、雨量・流量・積雪情報

【参考資料:解説】

1. 利根川上流8ダムの貯水状況

平成28年の利根川上流8ダムは、5月からの少雨の影響を受け、都市用水や農業用水の需要を確保するために、ダムに貯留した水を補給しました。その結果、利根川においては、6月16日から9月2日の79日間(一時緩和期間を含む)にわたり10%の取水制限(施設未完成による暫定水利権については20%の取水制限)を実施しました。

平成28年の出水期以降、8月、9月には台風等によるまとまった降雨もあり、12月29日0時に3億5,547万m³まで回復し、以降、奥利根5ダムは利根川の必要量を確保するため放流を継続しました。

しかし、2月の少雨で流況を維持するためダムからの補給量が多くなり、貯水量の減少が速くなったため、下流施設(北千葉導水路)を活用し、ダム貯水量の温存を図りました。

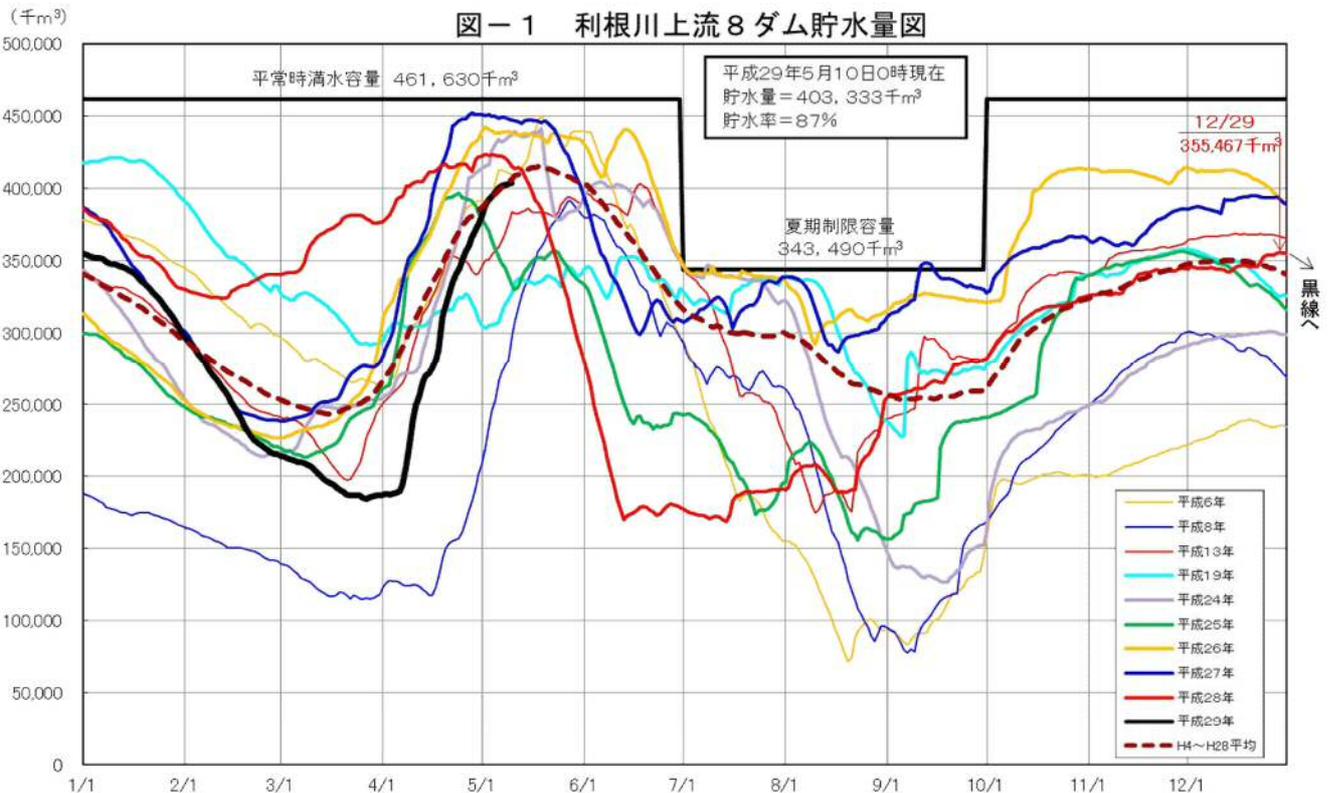
今年は利根川上流8ダムのうち、5ダム(矢木沢ダム、奈良俣ダム、藤原ダム、相俣ダム、菌原ダム)が満水となりましたが、これからは水需要が増大していく時期となり、今後の降雨状況によっては、貯水量が減少する可能性もあります。

利根川ダム統管理事務所では、利根川上流8ダムの効果を最大限に発揮するよう、一元的にコントロールする「統合管理」を行っており、引き続き関係機関と連携し、きめ細かいダム運用を行って参ります。

なお、神流川の下久保ダムでは、流域に降雪がほとんどなく今年の1月から3月の降水量が平年に比べ少なかったことから、現在の貯水量は8,384万m³(貯水率:70%)にとどまっています。

渡良瀬川の草木ダムでは、流域に降雪がほとんどなく今年の2月から3月の降水量が平年に比べ少なかったことから、現在の貯水量は3,706万m³(貯水率:73%)となっています。

渡良瀬貯水池では、冬期における貯水池干し上げ後の貯水に努めており、現在の貯水量は1,791万m³(貯水率:67%)まで回復しています。



2. 利根川上流域の降水状況

平成29年の栗橋上流域における降水量は、1月は61mm(同月平均138%)、2月は37mm(同月平均77%)、3月は56mm(同月平均83%)を観測しており、1月～3月までの総降水量で見ると、平年並みとなっています。

4月は平年を下回る降水量73mm(同月平均81%)となっています。

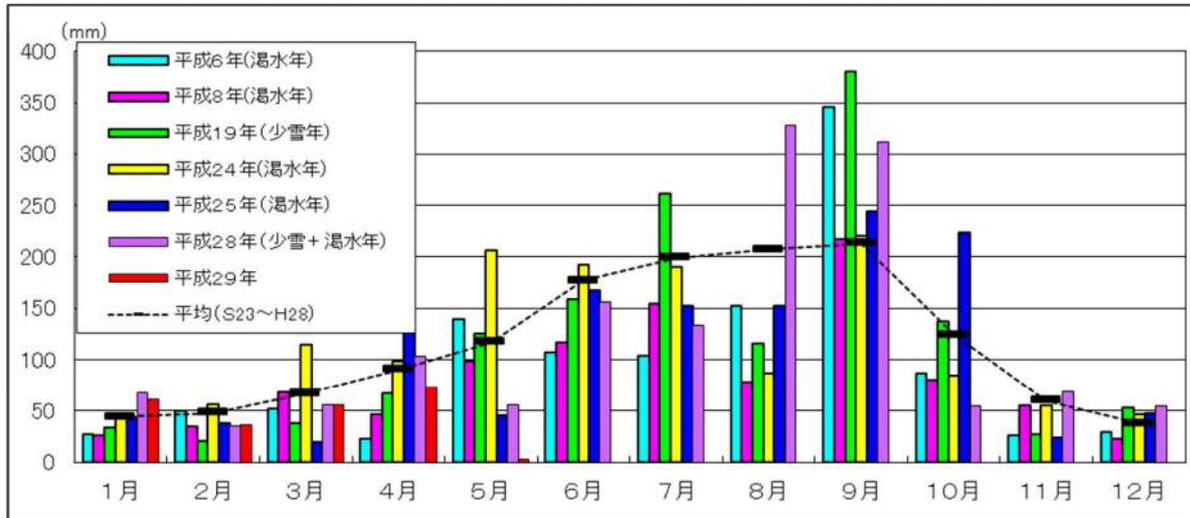


図-2 栗橋地点上流域平均降水量(月計)

表-1 栗橋地点上流域平均降水量(月計)

(mm)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平均(S23~H28)	44	48	67	90	117	177	199	207	213	124	60	38	1,385
平成6年(渇水年)	27	50	52	23	139	107	104	153	346	87	26	29	1,143
平均値に対する割合(%)	61	104	78	26	119	60	52	74	162	70	43	76	83
平成8年(渇水年)	26	35	68	47	98	117	155	78	217	80	55	23	999
平均値に対する割合(%)	59	73	101	52	84	66	78	38	102	65	92	61	72
平成19年(少雪年)	34	21	38	67	126	159	262	116	380	137	27	53	1,420
平均値に対する割合(%)	77	44	57	74	108	90	132	56	178	110	45	139	103
平成24年(渇水年)	43	57	115	98	206	192	190	87	221	85	55	47	1,395
平均値に対する割合(%)	97	118	171	109	176	108	96	42	104	68	91	124	101
平成25年(渇水年)	43	38	20	134	46	168	152	153	244	224	24	48	1,294
平均値に対する割合(%)	98	79	30	149	39	95	76	74	115	181	40	126	93
平成28年(少雪+渇水年)	68	36	56	103	56	156	134	328	312	55	69	55	1,428
平均値に対する割合(%)	155	74	84	114	48	88	67	158	146	44	115	145	103
平成29年	61	37	56	73	3								230
平均値に対する割合(%)	138	77	83	81	3	0	0	0	0	0	0	0	17

数値は、平成29年5月10日迄の速報値
 利根川取水制限実施月(一時緩和含む)

3. 利根川上流域の積雪状況

藤原ダム地点は11月24日に初冠雪となり、累加降雪量はH27-H28期を100cmほど上回り、積雪深は平均値を上回ったまま推移し、4月18日に消雪しました(H27-H28期は3月15日に消雪)。また、尾瀬沼地点は、11月29日に初冠雪となり、藤原ダムと同様に累加降雪量はH27-H28期を300cm以上上回り、積雪深は平均値とほぼ同様な推移となっています。

今期の最大積雪深は藤原ダム地点で183cm(2月12日 ※ 昨期は2月11日に94cm)、尾瀬沼地点で287cm(3月27日 ※ 昨期は2月10日に172cm)となっています。平成29年5月10日9時現在、藤原ダム地点の積雪深は0cm(4月18日に消雪)、尾瀬沼地点の積雪深は83cm(平均値に対する割合は92%)となっています。

表-2 藤原ダム地点及び尾瀬沼地点の積雪深、累加降雪量表

観測所名	時 点	積雪深	今期最大積雪深	累加降雪量
藤原ダム (標高667m)	平成29年5月10日9時現在	0cm	183cm(2月12日)	837cm
	S34~H28の5月第2半旬末平均値	0cm		736cm
尾瀬沼 (標高1666m)	平成29年5月10日9時現在	83cm	287cm(3月27日)	1730cm
	S30~H28の5月第2半旬末平均値	90cm		1404cm

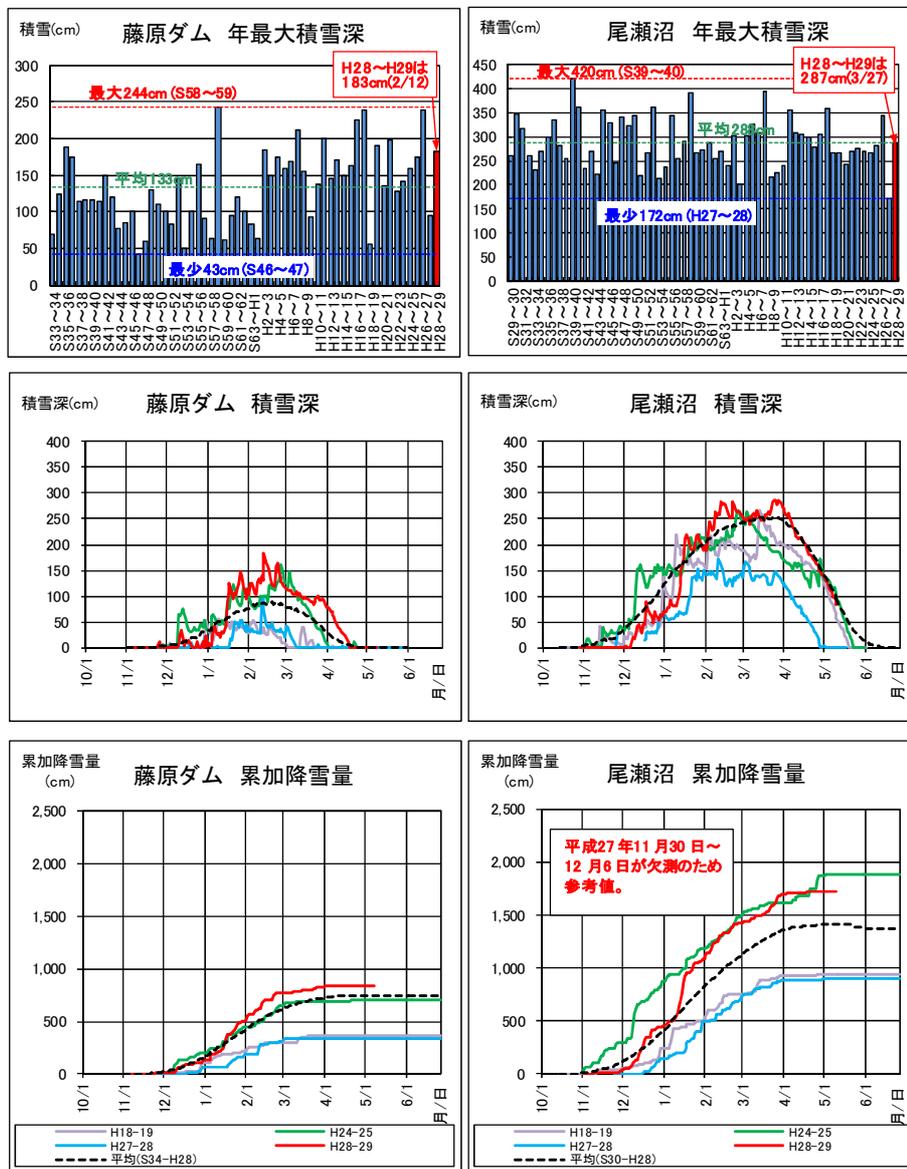


図-3 藤原ダム地点及び尾瀬沼地点の積雪深、累加降雪量図

4. 利根川上流8ダムの状況写真（撮影日：平成29年5月2日～5月9日）

①矢木沢ダム



②奈良俣ダム



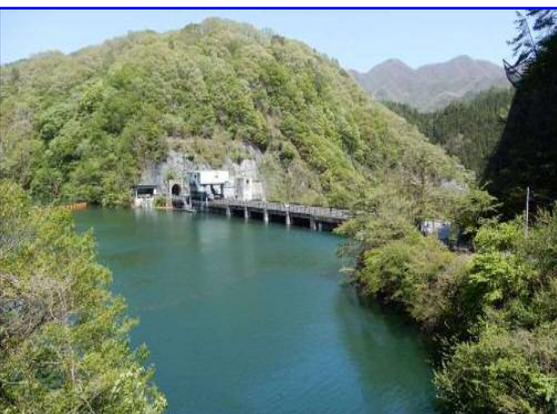
③藤原ダム



④相俣ダム



⑤菌原ダム



⑥草木ダム



⑦久保ダム



⑧渡良瀬貯水池

